

12/6、7、8 高校生インターンシップ@小高区役所

小高産業技術高校が実施するインターンシップで2年生4名を受け入れました。
この3日間で、実際に小高区役所の職員が行っている仕事を中心に体験してもらいました。

【インターンシップ参加者】

流通ビジネス科/荒井 龍清さん
機械科/高田 弘輝さん

機械科/梅田 裕盛さん
産業革新科/山本 夏音さん



●「おだかぐらし通信作成のため、小高のまちへ取材に出かけました！」

高校生が実際に小高区内をまわり、地域のこと、仕事のこと、暮らしなどの取材をしました。緊張しながらも、アポイントの電話、名刺交換、取材に取り組みました。



野口福太郎さんへの取材
@小高パイオニアヴィレッジ



廣畑裕子さんへの取材
@小高工房



初めての名刺交換でドキドキ…！
@小高テック工房



取材内容をまとめて記事作成中📝

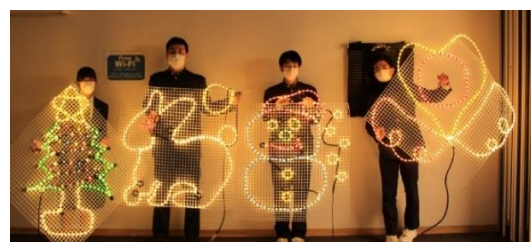
高校生自身も、いつも通っているけれど、知らなかった小高のことがたくさんあったようです。

次のページでは、4名の生徒がそれぞれ思ったこと、感じたことを記事としてまとめました。
ぜひご覧ください！

高校生が作成した記事は次のページ

アイスブレイクを兼ねてイルミネーション制作体験を行いました。作品は、1月末頃まで小高交流センターで展示しています。

初めての体験で難しかったですが、
上手に出来ました！ぜひ見に来てください！



枠にとらわれない自由な発想で
素敵な作品が完成しました！



小高産業技術高等学校
ODAKA Industrial Technology and Commerce High School

小高産業技術高校 2年 #Odakaの想い、



ブックカフェ

フルハウス

〒979-2121

福島県南相馬市小高区東町1-10

2018年に駅通りにオープン！
夕暮れ以降の暗い時間に、
町を照らそうという思いのもと営業！
私たちの生活は町の人々の優しさに
照らされていると実感できました！
豊富な本やおいしい料理があるこの場所は、
高校生や小高の人たちの憩いの場となっています！

パティシエさんの
手作りスイーツ！

高校生ライター：荒井龍清



記者イチオシのガトーショコラ

南相馬

小高工房

〒979-2124

福島県南相馬市小高区本町1-53

震災後、動物が集まったことで
作物への被害が絶えない中でも、
その辛さ故に被害を受けなかった
「唐辛子」を活かした商品を販売！

唐辛子の辛味の効いた
カレーや調味料など、
様々な商品！

唐辛子だけでなく柚子や菜種を使った商品の発案など、
店長の廣畑さんを筆頭に、みなさん前向きに、
日々新しい試みを続けています！



記者達絶賛のカレー

Flower & Tea ODAKA
お花とお茶

KIRA

TEL 050-8884-1688

10:00~17:00 (定休日：日曜・月曜・火曜)
南相馬市小高区東町1-37 (JR小高駅前)

お花とお茶のお店です。ほかにもオシャレな雑貨やアロマなどを販売しています。

母の日のプレゼントや、彼女さんへのプレゼントにいかがですか？

●店員の**水谷祐子**さんにインタビューしました

- Q、どんな人が来ますか？
A、市外や県外の女性が多いです。もちろん男性の方も来ます。
Q、このお店で働いて『よかったな』と思うことは何ですか？
A、お客さんや、お店の前を通る人と話せることです。
それと、遠くから来た人に小高の復興の歩みを伝えられることです。



ミニフラワーベース

←実際に販売している商品→

※通信販売してます！

▼店内ではハーブティーも注文でき、
安らげる場所になっております。



ドライフラワーや雑貨

店員さん達は明るく話しやすいので気軽に立ち寄ってみてください！

by 記事作成者

◆小高ワークスベース(株)

小高ワークスベースは、『シェアオフィス』として、小高パイオニアヴィレッジを運営しています。小高ワークスベースでお仕事をされている野口福太郎さんは、コミュニティマネージャーとして活躍し、誰も真似できないユニーク性を考え、小高を盛り上げる活動を行っています。これからの小高について『新しいことを生み出し、それを生かしていける。そして継続的にチャレンジし、どんどん形造れるような町になってほしい』と話されていました。

私はゼロベースから社会づくりを行い、小高を開拓していく考え方がとても斬新で新しいと感じました。

高校生ライター：山本夏音



▶ 野口さんに取材をしている様子

◆ Iriser - イリゼ -

小高ワークスベースの中にあるアトリエで、ガラスで作ったオリジナルグッズを販売しているお店です。

アクセサリやストロー、インテリア雑貨など、工房やネットから購入することが出来ます。

清田翔衣さんはこの仕事を通して、『組み立ての部分が上手に出来て褒められたり、作った商品がお客様の手に渡り、声を聞くことができたり、作品を考えて実際に商品にできることがやりがいです』と話されていました。

ガラス職人が働く場所が少ないのに対して、繊細な技術を駆使し商品を作ることは魅力的で、素敵なお仕事だなと思いました。



▶ イリゼのディスプレイ

株式会社 つむぎ 玉沢 堅司さん

福島県南相馬市小高区本町1丁目53

高校生ライター：高田弘輝

小高工房の2階にある！詳しい場所はGoogleマップで『小高工房』と検索！

▶ なぜ小高で起業したのか

小高テック工房の塚本さんと知り合いで小高にやってきた。そして、小高の防災システムに課題があると思い起業した。

▶ 今後の目標

高校生と小高サイトをつくること
小高の防災サービスを確立すること
農業ができるエンジニアを育てること
雇用促進をすること

▶ 私たち中高生へのアドバイス

あいさつをしっかりとすること、【小高】の魅力を実感することで感性が豊かになるとおっしゃっていました。

あいさつは会話の始まりだと思いますし、若いうちに小高の自然や人々とふれあい感性を豊かにしていくことが大切だと思います！

by 高田弘輝



玉沢堅司さん

出身：大阪

趣味：農業

去年の8月から
小高に住んでいる



取材の様子

ひとこと
震災を経験した
小高だからこそ
防災システムが大切
なのだと思います。

● インターンシップを終えて一言



流通ビジネス科 荒井 龍清

この3日間を通して、区役所の方々の一日の様子や担当してくださった方の仕事内容について触れることができました。それだけでなく、地域にある様々な会社や働く人の話を聞き、その人たちの持つ価値観や、小高や今の若い人たちへの考えや思いを知ることができ、自分の住んでいる地域が活気に満ちていることを実感しました。今回のインターンシップで得た経験をもとに、この地域や国の新時代を担う一員として精進していきたいです。



機械科 梅田 裕盛

今回のインターンシップでは区役所職員の仕事の内容を学ぶことができました。インタビューでは小高で働く人の熱意や考えを聞くことができ、私の価値観や考え方に大きな影響を与えてくれました。今後、自分の進路を考える際に、これらの経験を活かしていきたいと思います。



産業革新科 山本 夏音

インターンシップを通して、取材先のアポ取りやおだかぐらし通信の記事作成など普段経験できないことに取り組めました。取材では、企業の方からお話を聞いて、新しいことを生み出す楽しさやビジネスの方針など新しい考え方を知ることができました。そして、小高の課題が、高校生がなかなかお店に立ち寄ってくれない、ということにも気付きました。今回の経験を、自分の進路選択や今自分ができていることに役立てていきたいです。



機械科 高田 弘輝

普段学校で生活しては学べない、イルミネーション制作体験や地域の方々との交流など新鮮な体験ばかりでした。私は進路選択の1つとして、区役所や市役所などの“公務員”があります。今回のインターンシップを経て、より強く公務員になりたいと思うようになり、とても実りのある3日間となりました。



小高区役所インターンシップ担当者 森 和紀

皆さん、お疲れ様でした。皆さんの取り組む姿は誰の目から見ても一生懸命で、素晴らしいものでした。今回のインターンシップで学んだことを活かし、大きく羽ばたくことを願っています。これからも応援しています、頑張ってください！！